



Autolib'(オートリブ)体験記

パリ事務所

1. 我が家における用途

我が家は妻と子(10歳)の3人家族で現在パリ市内にアパートを借りて生活しています。

平日の移動は近距離に限られるため、地下鉄、バス、トラムなどを利用し、なんら不便を感じていませんが、週末になると、郊外のショッピングセンターや近隣の街に出かけるなど中距離移動が発生するとともに、連休ともなると、遠方の街へ出かける等長距離移動が発生し、列車ダイヤの問題、運賃の問題(10歳以上は大人料金であるため、運賃は大人3人分)、レンタカーの問題(パリ市内のレンタカー業者は、土曜午後及び日曜休業、営業時間9:00~19:00が多く、使い勝手が非常に悪い)から多少不便を感じており、自家用車のリース契約を検討していました。

しかし、維持管理的な問題が非常に大きく、悩んでいたところに聞こえてきたのが自動車のカーシェアサービス『Autolib'』、年間基本料金144€^{*1}で24時間365日好きな時に電気自動車の貸出・返却ができるという内容に大きく心が傾きました。

2. 利用するにあたり

Autolib'を利用するにあたり重要視したのは、(1)料金、(2)貸出・返却ステーションの位置(以下「Autolib'ステーション」という。)、(3)自動車の性能を含めた使い勝手の3点です。

(1) 料金

年間基本料金に加えて利用に応じて4~6€/30分^{*1}の利用料金が必要となります。前述のショッピングセンター(パリ市内から約30km、片道1時間)で1

	料金	摘要
鉄道	37.80 €	大人往復×3人
レンタカー	75.00 €	3時間利用、ガソリン代別
Autolib'	33.00 €	3時間利用、基本料別

時間の買い物を想定すると右図のとおり、料金的に有利であることがわかります。

(2) Autolib'ステーション

現在、既にパリ及び周辺自治体に250か所が設置されており、我が家の近くには3か所、最も近いものは200mの距離にあります。

また、Autolib'ステーションの周りにはVélib'^{*2}ステーション、鉄道駅などもあり、

既存公共交通機関と連動していることがよくわかります。

日頃 Vélib'を愛用している私にとって、この連動は非常に有益なものと考えられました。なぜなら、例えば Autolib'ステーションに車両がない場合でも、隣のステーションまで Vélib'で移動するといった使い方が可能となるからです。

実際、サービス供用開始後の最初の土曜日午前に利用しようとしたところ、最も近い Autolib'ステーションに車両がなく、早速両者を連動させることになりました。



自宅周辺の状況

(3) 自動車の性能を含めた使い勝手

HP等で調べる限り非常に満足のいくものであると思いました。電気自動車で最も気になる航続可能距離は、150km~250km、貸出・返却は利用者カード(非接触ICカード)をかざすだけで可能、車両がない場合は、貸出・返却端末で近隣ステーションの空き車両状況を確認・予約することが可能 etc…

やはりこればかりは使ってみなければわからない部分が多いと感じ、本サービスを利用することとしました。

3. 利用者登録

利用者登録は、有人のステーション Espace Autolib'(エスパス・オートリブ)に設置されているTV電話を用いて、オペレーターからの指示に従って行います。

オペレーターとの会話は、仏語、英語から選択することができ、必要書類として運転免許証、身分証明書(パスポート可)、クレジットカード(ICチップ付であれば可)が必要となります。オペレーターの指示に従い、これら必要書類をカメラの前に提示、またはスキャナ装置にセットします。

これら必要書類の提示は、エスパス・オートリブだけでなく事前にインターネットから登録することも可能です。(書類をPDF化して送信)



Espace Autolib'



オペレーターとのやりとり

これら必要書類の登録が完了すると、ICチップ搭載(非接触)のユーザーカード(契約手続き直後、紙製の仮カードが発行され、約1か月後本カードが郵送されてきます。)が発行され、利用の準備が完了します。



ユーザーカード

4. Bluecar^{※3}に乗ろう！！

サービス開始後の最初の土曜日、早速近所の Autolib'ステーションに向かいましたが、車両があるにも関わらず貸出不可・・・新たなサービスが始まる時にはよくある不具合でしょうか・・・

仕方なく隣のステーションにある車両を予約し、Velib'にて隣のステーションへ向かいました。(予約は20分間有効。急げ！！)

Bluecar の貸出手順は非常に簡単です。

(1)貸出端末 IC 読取装置にカードをかざす(赤色着色部分)

(2)暗証番号を入力

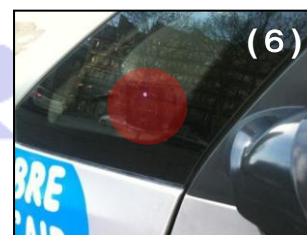
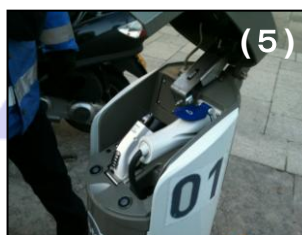
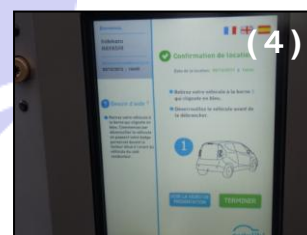
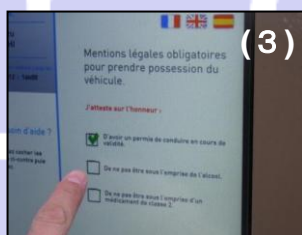
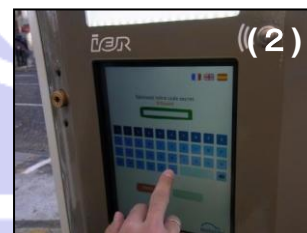
(3)質問に回答(運転免許証を持っているか。お酒を飲んでいないか等)

(4)貸出可能な車両番号の表示

(5)車両に接続されている充電ケーブルを取り外し、充電器に収納

(6)運転席横にある IC 読取装置にカードをかざして車両を解錠(赤色着色部分)

(7)ハンドル部分にワイヤーでつながれているカギを用いて運転可能



以上、貸出に要した時間は、わずか5分程度でした。

5. Bluecar の性能は？

上記手順を経て車両を借り、早速 30km 離れた郊外ショッピングセンターへ出かけました。車両の充電は 100%、往路は昼間に高速道路を利用し、復路は夜間(ライト点灯)に一般道路を利用しました。電気自動車だけに騒音はなく、家族 3 人を乗せての加速も申し分なし、速度は 100km/h を越え、ガソリン車と変わらない印象です。

ショッピングセンターで購入した品物も、トランクに十分収納することができました。

結果として、往復約 60 km を走って充電残量が 55%、つまり 45% の電力量で 60 km 走行したことから、実燃費は約 133 km / 100% 充電といったところでしょうか。

6. Autolib' を利用して

このように、実生活の中で Autolib' を利用しましたが、前述のとおり大変便利なシステムでした。

現在は、まだ Autolib' ステーションの設置箇所が限られているため、今回の実体験のように往路(1 時間)、駐車時間(1 時間)、復路(1 時間)、合計 3 時間の貸出時間が必要となることもあります。更に整備が進めば、移動先で一度返却し、目的を達成した後再度利用することが可能となり、ますます便利になりそうですので、当分このサービスを継続して利用したいと考えています。

このサービスを開始する目的として、環境に配慮した交通手段の利用促進や、個人所有車両から共有車両への移行を促進し、路上駐車スペースを減少させ、土地を有効に活用することが挙げられています。

今後どれだけの効果が得られるかわかりませんが、少なくともパリ市内にて駐車場を必要とし、排気ガスを放出してフランス国内を走行するはずだった 1 台のガソリン車が世に放たれなかったのは確かです。

今後もこのサービスの動向に注目したいと思います。

(林所長補佐 岐阜県高山市派遣)

※1 PREMIUM 1AN (1 年間契約)

年間基本料金 144€、利用料金 ~30 分 5€、30 分~60 分 4€、以後 30 分毎に 6€

※2 Vélib'(ヴェリブ)

パリ市において 2007 年 7 月 15 日からスタートしたセルフサービスの貸自転車制度。2011 年 6 月現在、ステーションの数は 1,800 か所まで拡大され、20,000 台の自転車が設置されている。2009 年以降は、パリ市周辺の 30 都市でも展開。160,000 人が年間会員に登録 (2010 年 4 月時点)。サービスを開始してからの利用は、2011 年 6 月に 1 億件を超えた。

※3 Bluecar

電気自動車の車名。サービスの提供に参画する自治体で構成する事務組合から運営委託を受けた、ボロレグループ (Le groupe Bolloré) が開発。